

## 競技者注意事項

この大会は、2015年(財)日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

1. 招集は、全て競技者係の指示に従うこと。  
点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始の15分前、フィールド競技は競技開始の20分前(最終点呼)とする。  
招集に遅れた者の出場は認めない。  
点呼終了後、競技者は集合場所を離れてはいいけない。移動はすべて競技者係の誘導によって行う。  
他の競技と重複して出場する競技者は競技者係に申し出て指示を仰ぐこと。  
四種競技の点呼は最初の種目だけとし、二種目以降は各競技場所に集合(競技開始15分前)とする。  
リレーのオーダー用紙は、その競技開始1時間前までに大会本部に提出すること。遅れたチームは棄権とみなす。  
オーダー用紙は同封のものを使用すること。  
棄権する場合は、競技者係に申し出ること。  
トラック種目とフィールド種目が重複する場合はトラック種目を優先とする。ただし、招集の際に審判員にそのことを伝え、移動する際にはフィールド審判員に断ってから移動すること。
2. 走路順・試技順  
プログラム記載通りとする。  
四種競技の競技順は次の通りとする。  
男子 110mH 砲丸投 走高跳 400m  
女子 100mH 走高跳 砲丸投 200m
3. トラック競技  
800mのスタートは男女ともセパレートとする。
4. フィールド競技  
走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。  
男子 (練習 1m15) 1m20~1m50まで5cm 1m50から3cm  
女子 (練習 1m05) 1m10~1m35まで5cm 1m35から3cm  
四種男 (練習 1m15) 1m20~1m55まで5cm 1m55から3cm  
四種女 (練習 1m05) 1m05~1m20まで5cm 1m20から3cm  
走幅跳のピットはA・Bピットで行う。
5. ナンバーカードは胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技の出場者は胸部のみでよい。(走幅跳、走高跳)。また、トラック競技(リレー競技においては第4走)では、競技者係で腰ゼッケンをもらいスタート前に右腰に着け、ゴール後に係りに返還すること。
6. 表彰は行わない。各種目6位以内(リレーは3位まで)の入賞者は、賞状を学校ごとに本部2階へ受け取りに来ること。
7. 練習について  
8時20分まで、本競技場での練習を認める。  
ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。競技場外のグラウンド(末広中学校のグラウンド)などの施設を使用しないこと。
8. スパイクシューズについて  
本競技場は全天候舗装であるので、ピンは全天候型9mm以下を使用する。
9. その他  
ナンバーカードは競技終了後順番にそろえて、返却すること。  
スタートの発声は英語で行う。事前に指導しておくこと。「位置について」が[on your marks]「用意」が「set」とする。  
ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツの使用を禁止する。ただし、はみ出していない場合やハーフパンツやスパッツだけを着用することは許される。(注意を受けた場合についてはきちんとした対応を取ること)  
不正スタートについては1発失格を適用する。1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、男女四種競技においては各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。